



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

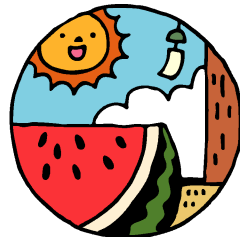
令和8年7月17日

豊玉中学校だより No. 38

【E-mail】 matsushita.yoko2@nerima-ky.ed.jp

【URL】 <https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

7月に入り、梅雨明けを思わせるような暑さが続いています。熱中症警戒アラートが発表される日もあり、校内ではこまめな水分補給を促しながら、生徒が落ち着いて学習に向かえるよう環境を整えてきました。学期末らしい集中感があり、学級では互いに声をかけ合いながら課題に向かう協力的な雰囲気が広がっています。1学期を通して、生徒が自分の力で学びを積み重ね、仲間と支え合いながら成長してきたことを日々の姿から感じています。



授業や生活の中で、時間の使い方、仲間との関わり、課題への向き合い方など、生徒一人一人が自分のペースで力を伸ばしてきました。運動会などの行事では、役割を果たそうとする姿や、学級・学年を越えて協力する場面が多く見られ、責任感や周囲との関わり方にも確かな成長が感じられました。学力面の積み重ねだけでなく、行事や日常の取組を通して、気持ちの切り替えや行動の仕方が整ってきたことも、1学期の成果として表れています。

ここまで生徒が落ち着いて学校生活を送り、明日からの夏休みを迎えられるのは、日々の生活リズムや体調面でご家庭から支えていただいたおかげです。改めて心より感謝申し上げます。通知表をご覧いただき、三者面談では1学期の学びや生活を振り返りながら、お子様の成長を共有し、2学期以降の課題や目標についてご家庭で話し合っていただけだと思います。ご家庭での対話が、夏休みを安心して過ごすための支えとなることを願っています。

夏休み中は、暑さへの備えや生活リズムの維持が大切な時期となります。この先も部活動の大会や発表会、イングリッシュキャンプなど、生徒が力を発揮する場も続きます。日々の活動の中で、お子様の様子について気になることや不安に感じることはありません。遠慮なく学校までご連絡ください。生徒の安全と安心を守るため、学校としてもできる限りの対応を続けてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年7月17日 1学期終業式 ～ 校長講話より ～

1学期を振り返ると、今年度の豊玉中には、これまでとは違う「確かな変化」がありました。昨年は号令をなくし、今年はチャイムをなくしました。また始業式では、「人の話を耳だけでなく目と心でも聞いてほしい」、「自分の耳で聴き、目で見て、頭で考えて行動してほしい」、「視野を広げ、先を見通して物事を広く捉えてほしい」と、三つの願いを伝えました。どれもが「自分で動く学校」へ近づけるための取組になります。急に変わるものではないのですが、少しずつ積み重ねていけば必ず形になり、それが「豊玉中らしさ」になっていくと考えて進めてきました。

授業の前後の切替や休み時間の過ごし方など、学校生活の様々な場面で、その時に必要なことを自分で考え、判断して動いていました。号令がなくても、チャイムがなくても必要だと思ったことを自分で選び、行動に移していました。自ら積極的にあいさつしたり、友達の変化に気づいて声をかけたり、当番活動などにも自然と動き出したりしていました。誰かに言われたからではなく「自分で考えて行動すること」が日常の中に根付き、学校のあちこちで「当たり前」になっていました。

特に運動会では、「豊玉中らしさ」をはっきりと感ずることができました。3年生が全体を見渡し、下級生に声をかけ、全員が自分の役割を理解して行動していました。競技の裏では、一人一役の仕事を黙々と果たし、困っている仲間に自然に手を差し伸べる姿が多く見られました。演技では、互いに目を合わせ、呼吸を合わせ、全校での一体感を生み出していました。生徒同士自分たちで考え、自分たちで動き、自分たちで作り上げ、成功させた行事となりました。誰かに動かされる学校ではなく、「自分で動く学校」を感じ取ることができました。その光景を見ながら、とても感動しました。

実はこうした日常の姿、そして運動会での姿こそ、私が願い続けてものでした。着任してからの「先見の時間」の実施も、号令、チャイムの廃止も、始業式で伝えた3つの願いも、すべては「こうなってほしい」という願いから始まりました。生徒が自分で判断し、自分で動き、自分で場をつくる学校になってほしいという願いです。その願いを実現するために、日常の中で「自分で決める場面」を意図的に増やしてきました。その願いが皆さんの行動によって現実になってきているのです。積み重ねは必ず成果として形になると、改めて感じています。校長としてこれほど嬉しいことはありません。ありがとう。

そして、この成果は生徒の皆さんの力だけではありません。日々の授業、学校生活、行事の準備や運営の中で、先生方をはじめとした教職員の方々が、皆さんの成長を信じ、任せ、見守り、必要な時は支えていました。そうした毎日の中で皆さんは安心して挑戦し、自分の力を発揮できたのだと思います。生徒と教職員が一緒に作り上げた1学期になったと思っています。

明日から45日間の夏休みに入ります。学校という枠から離れ、自分の生活を自分で作る期間です。朝起きる時間、学習の計画、運動する時間、趣味に没頭する時間、家の手伝い、読書や調べ物など、日々の生活について「夢手帳」を活用して決めていきましょう。自由な時間が増える分、自分の弱さと向き合う場面もあります。そのときに、どう動くかを自分で決めることが大切です。学校で身に付けてきた「自分で考えて動く力」を、生活の中でも発揮してほしいと思います。夏休みは、2学期の自分をつくる準備期間でもあります。どんな姿で戻りたいのかを、自分で決めてください。だからこそ、

- ・自分のできることを他人任せにしないため「自分が自分の号令者となる」。
- ・十分な睡眠をとり、生活リズムを整えるため「心のチャイムを鳴らす」。
- ・スマートフォンやタブレットに頼り過ぎず、「自分の頭で考える」時間をもつ。
- ・家のことや地域のことにいつもより積極的に関わってみる。

この4つを忘れずに過ごしてほしいと思います。

1学期の皆さんは、自分の力で学校を動かし、自分の力で行事を成功させ、自分の力で成長してきました。夏休みもその延長線上にあります。自分で決め、自分で動き、自分で作る有意義な45日間にしてください。2学期の始業式で、元気な皆さんに会えるのを楽しみにしています。

★ 1 学期終業式 生徒会長のお話 ★

終業式では、生徒の皆さんにお話をしてもらいました。以下は、生徒会長のお話です。

今日で1学期が終わります。振り返ってみると、新しい学年、新しい学級で始まり、最初は緊張していた人も多かったのではないのでしょうか。しかし、今ではそれぞれの学級に少しずつ雰囲気ができ、友達や先生との関わりが増え、学校生活に慣れてきたと思います。

1学期には、授業や部活動、委員会活動など、それぞれが様々な場面で頑張る姿が見られました。うまくいったこともあれば、思うようにいかなかったこともあったかもしれません。でも、その一つ一つの経験が、皆さんを成長させてくれます。結果だけでなく、「挑戦したいこと」そのものにも大きな価値があります。さて、明日からはいよいよ夏休みです。夏休みは普段なかなか出来ないことに挑戦できる貴重な時間です。どんな過ごし方をしても自分なりに「この夏、これを頑張った」と胸を張って言えるような時間にしてほしいと思います。もちろん、生活リズムも大切です。夜更かしが続くと、せっかくの夏休みがあっという間に過ぎてしまいます。二学期を気持ちよくスタートできるよう、規則正しい生活を意識して過ごしましょう。

そして、後期には文化発表会や合唱コンクールなど、大きな行事が待っています。学年や学級、それぞれの仲間と協力することで思い出に残るものになります。一学期に築いてきたつながりを大切にしながら、さらに成長した姿で二学期を迎えられることを楽しみにしています。

最後になりますが、皆さんが健康で充実した夏休みを過ごし、始業式の日に元気な姿でお会いしましょう。



夏休み中も、生徒の皆さんが「夢手帳」を活用して、先見を基に主体的な夏休みを過ごせるようにしてほしいと思います。生徒会長が述べた「挑戦できる貴重な時間」を先見で生み出してください。皆さん、よい夏休みをお過ごしください。



★ 練馬区立中学校生徒海外派遣生 決意表明 ★

同じく、終業式では海外派遣生2人から決意の言葉を話してもらいました。本校の代表がオーストラリア・イプスウィッチへ出発する日は、もう間近です！（7月19日出発式、26日帰着式です。）

私たちは計4回の事前研修を経て、海外派遣候補生から海外派遣生になりました。

昨年度の3学期に募集があり、当時は海外へ一人で行くのに、少し不安な気持ちもありましたが、研修で様々な他校の派遣生と関わっていくうちに「一人ではなく、皆で行くんだな」という安心感を持ちました。

明後日、成田空港からオーストラリアへ向かうというのが、未だに実感が湧いていませんが、文化発表会や日頃の生活で、皆さんに、できる限りの還元をすることができたらと思います。

また様々な日本文化をオーストラリアへ伝え、オーストラリアの文化を日本に持って帰って、たくさんの人に経験を伝えることで、オーストラリアと日本の小さな架け橋になれたらいいと思います。



このたび、海外派遣生徒としてオーストラリアを訪問する機会をいただきました。

私は、今回の派遣を通して、オーストラリアの文化や生活について学びたいと考えています。オーストラリアは自然が豊かで、多様な文化をもつ国だと聞いています。実際に現地の人々と交流することで、本やインターネットだけでは知ることのできない発見や学びを得たいです。

これまで学校や事前研修で学んできたことを生かし、現地での生活や交流に積極的に取り組みたいと思います。また、間違いを恐れずに英語を使い、自分からコミュニケーションを図ることを大切にしたいです。

今回の経験を通して、視野を広げ、自分自身を成長させるとともに、帰国後は学んだことや感じたことを周りの人に伝えたいと考えています。そして、自分の挑戦が、誰かの新たな挑戦のきっかけとなるよう努めていきます。